

# 寺子屋のお母様の体験談

令和元年10月26日

なでしこ寺子屋に参加しております、松本と申します。参加者を代表しまして、なでしこ寺子屋の活動内容と、子どもの様子についてお話いたします。

なでしこ寺子屋は、毎月第4土曜日10時～13時、西宮市中央公民館で開催されています。親子で、立腰・礼法を行った後、今月のお話として、季節の行事や祝日にまつわる講話を聞きます。その後、子どもたちは、書道に取り組み、和歌を作っています。時には童謡を歌ったり製作したり草花教室があったり、その中で季節を感じる学びができています。その間、保護者は、日々の子育ての中での気づきについて話し合う時間があります。

私は、中学1年生と小学5年生の女の子と小学1年生の男の子の母です。なでしこ寺子屋には主に1年生の息子と二人で参加することが多いです。息子が幼稚園年中の時からで、現在3年目になります。初めて参加した時、子どものところに祖父母の家に遊びに行った時のようなとても懐かしく、温かい空気に包まれたことを覚えています。

参加するたびに、先生方、スタッフの方々の温かいまなざしや言葉に癒されます。「一人ひとり、とても素晴らしい存在で、愛されているんだよ。」というメッセージがあらゆるところに込められていて、とても居心地の良い時間を過ごすことができます。

毎回の終わりの会では、その日の子どもたち一人ひとりの様子を発表していただきます。初めて参加した時には、「いつの間にそこまで見てくださっていたんだろう。」と驚いた記憶があります。子どもたちを見守ってくださっていること、たくさん誉めてくださること、親子ともに励みになります。

寺子屋を通して子供の成長に驚かされることがあります。

息子が折り紙が得意だということで、7月の制作の時間に、折り紙の先生として活躍する場を与えていただきました。息子は張りきって、何を作ろうか考え、練習して、準備しておりました。「準備するって大変だね。先生たち、いつもこうやって準備してくださっているんだね。」と言っておりました。準備する側の立場を経験し、先生やスタッフの方に支えていただいていることを、気づいたようです。

「今月のお話」では、出口先生が子どもたちにわかりやすく丁寧にお話していただきます。祝日や行事に関すること、日本の歴史にも触れます。息子が年中の時のことですが、建国記念日のお話として神武東征のお話がありました。帰宅してから「今日は日本のお誕生日のお話だったんだよ。」と言って主人に説明し始めたことにとっても驚きました。まず先生のお話を聞いているのかすら怪しいと思っておりましたので、幼いなりに理解していることに驚き、うれしく思いました。

この、今月のお話の内容がとても素晴らしいなど感じることは他にもあります。

百舌鳥古市古墳群が世界遺産に登録されるということが話題になったときには、「あ、知ってる。みんながおなかいっぱい食べられるようになるまで私も節約します。とおっしゃった仁徳天皇のお墓だよ。」とっていました。仁徳天皇の民のかまどのお話と、しっかり結びついていました。そして、先日はテレビのニュースを見ながら「これ、この前寺子屋で聞いたね。」というので、私もテレビを見てみると、ハンセン病患者の方のドキュメンタリーでした。私はすぐには気づかず、思い返してみると、「ああ、光明皇后の千人風呂のお話ね。そうそう、そのお話ね。」となりました。

寺子屋で聞いたお話が、このように時事問題にも関心を持つきっかけになるという底知れない力を実感いたしました。5月の改元の折にも、令和という元号が万葉集の序文が出典になっているということにも当然のように興味を示しました。

大人でしたら、とても難しいという印象の古典や和歌に、子どもはごく自然と親しんでいます。百人一首を覚え、漢字を覚えるきっかけになり、本をよく読むようになりました。礼法や書道で、立腰し、心を落ち着かせて集中するという経験を重ねることで、普段の生活の中でもメリハリをつける習慣ができていくように思います。

今回、息子の例を挙げましたが、参加している子どもたち、みんな姿勢がよく、元気いっぱいのお返事で、集中力があります。書道は力強く、堂々とした字を書いていますし、和歌は素直な気持ちが表現されていて、感心します。

こどもの語彙力を増やしたい、感性豊かに、興味関心を広めたい、ほめて育てて自尊心を高めたい・・・など子どもにしてあげたいことがたくさんあります。子どもを見守ってくださる方、ほめてくださる方が多いほど、感性が豊かになり、自尊心が高まるように思います。これらのきっかけになることが寺子屋にはたくさん詰まっています。

子どもたちとは別室で行われる父母会では、生命の教育誌を参考に、テーマについて話し合ったり日々の子育てについての気づきを話し合ったりするのですが、皆さん共通の不安や困りごとがあって、タイムリーな話題もあり参考になります。こどもにとって良い経験になれば、という思いで通い始めた寺子屋ですが、今では私の癒しの場でもあります。

書道・和歌・古典の素読、と聞くと堅苦しい印象があるかもしれませんが、子どもたちは自然と親しみんでおりますし、期待以上に良い影響を受けていると実感しています。なでしこ寺子屋に興味を持っていただき、仲間が増えるといいなと思います。